

検察、ロッテ建設 300 億裏金造成状況捕捉

[JTBC] 入力 2016-08-25 08:57

[アンカー]

ロッテグループの秘密資金疑惑を捜査している検察が、今日（25 日）シン・ドンビン会長の最側近であるファンガクギョ政策本部運営室長を被疑者の身分で呼んで調査します。ロッテ建設が 300 億ウォン台の秘密資金を造成したという具体的な状況を検察が捕捉したんです、この裏金相当部分がシン・ドンビン会長の資金を管理するポリシー本部に伝達されたものと見ています。

バクビョンヒョン記者です。

検察は、2009 年から 5 年間、ロッテ建設社長を務めたパク・チャンギョ前社長の自宅を昨日（24 日）押収捜索しました。

秘密資金造成の背景と関連した資料を見つけるためです。

検察は、この秘密資金がシン・ドンビン会長側に流れ入ったことが疑われています。

前に、検察は去る 17 日、ロッテ建設本社を家宅捜索し、2002 年から 10 年の間、すべての 300 億ウォン規模の裏金を造成した内容が盛り込まれた USB を確保しました。

ロッテ建設は下請け業者 19 ところ官給工事を任せ、工事費の一部を戻し受ける方式で秘密資金を作ったことで、検察は見ています。

検察は、300 億ウォンのうち相当部分がロッテグループ政策本部に渡されたものとみなし、秘密資金の流れを集中捜査しています。

政策本部は、シン会長の資金を管理する部門として知られています。

検察は今日シン・ドンビン会長の側近であるファンガクギョ政策本部運営室長を呼んで秘密資金使途を集中的に調査する方針です。